



# おさかな瓦版

No. 64  
2015.3

シリーズ：いろいろな漁業 第3回

## まき網漁業



ふーちゃんのトピックス

「さかなと森の観察園」に行ってみよう!

# まき網漁業

～大きな網で大衆魚を獲っています～



皆さんは、きっとカツオ・マグロ・イワシ・アジ・サバなどの魚が好きでしょう。こういうわたしたちになじみの深い、いわゆる「大衆魚」を獲るのがまき網漁業です。

まき網漁業の特徴は、なんととってもすごく大きな網を使うことです。大きなものは長さが1800メートル以上、深さも200メートル以上あります(カメラ1)。また、「船団」というチームをつかって漁を行います。船団は大きな網を乗せている「網船」、網船をサポートする「レッコボート」、魚群を探す「探索船」、獲った魚を運ぶ「運搬船」で構成されています。チームワークがとても大切で、魚群を探すところから、獲って港へ運ぶまで、それぞれ



カメラ1. 網を船の上に乗せているところ  
人の大きさと比べてください

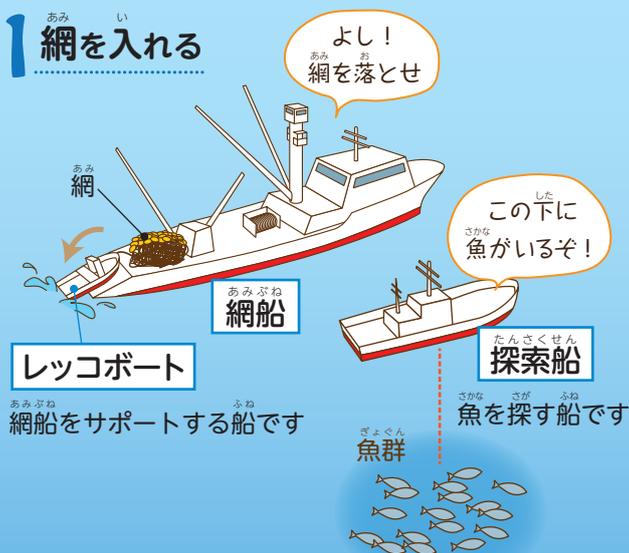
この船が役割をしっかりと果たし、助け合っています。

探索船が発見した魚群の周りを、網船は大きな円を描くように進みながら、網を海に落

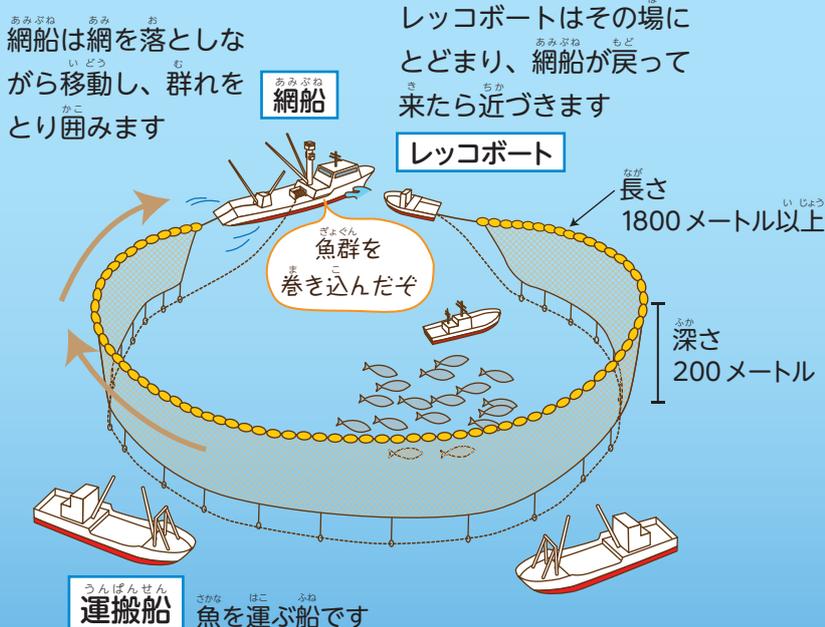
## まき網漁業で魚を獲る!

まき網漁業のやり方の一例を紹介します

### 1 網を入れる



### 2 魚群を巻き込む





📷 2. <sup>あみぶね</sup> <sup>みぎ</sup> <sup>うんばんせん</sup> <sup>ひだり</sup>  
網船 (右) と運搬船 (左)



📷 3. カツオの<sup>と</sup><sup>り</sup><sup>こ</sup><sup>み</sup>  
取り込み

としていきます。<sup>あみ</sup> <sup>すこ</sup> <sup>しず</sup> <sup>しず</sup> <sup>ん</sup> <sup>で</sup> <sup>い</sup> <sup>き</sup>、  
<sup>ぎ</sup> <sup>ょ</sup> <sup>く</sup> <sup>ん</sup> <sup>を</sup> <sup>と</sup> <sup>り</sup> <sup>か</sup> <sup>こ</sup> <sup>み</sup> <sup>ま</sup> <sup>す</sup>。魚から見れば、上から  
<sup>あ</sup> <sup>み</sup> <sup>の</sup> <sup>シャ</sup> <sup>ッター</sup> <sup>が</sup> <sup>下</sup> <sup>り</sup> <sup>て</sup> <sup>き</sup> <sup>て</sup>、まわりをとり  
<sup>か</sup> <sup>こ</sup> <sup>め</sup> <sup>ら</sup> <sup>れ</sup> <sup>た</sup> <sup>か</sup> <sup>た</sup> <sup>ち</sup> <sup>の</sup> <sup>か</sup> <sup>た</sup> <sup>ち</sup> <sup>に</sup> <sup>な</sup> <sup>り</sup> <sup>ま</sup> <sup>す</sup>。この時、魚は網より  
<sup>も</sup> <sup>ふ</sup> <sup>か</sup> <sup>く</sup> <sup>も</sup> <sup>く</sup> <sup>に</sup> <sup>は</sup> <sup>逃</sup> <sup>げ</sup> <sup>ら</sup> <sup>れ</sup> <sup>る</sup> <sup>の</sup> <sup>で</sup> <sup>す</sup> <sup>が</sup>、漁師さん  
<sup>は</sup> <sup>魚</sup> <sup>が</sup> <sup>あ</sup> <sup>ら</sup> <sup>ず</sup> <sup>か</sup> <sup>め</sup> <sup>う</sup> <sup>ち</sup> <sup>に</sup>、網の一番下について  
<sup>い</sup> <sup>る</sup> <sup>ワイ</sup> <sup>ヤー</sup> <sup>を</sup> <sup>船</sup> <sup>に</sup> <sup>引</sup> <sup>っ</sup> <sup>張</sup> <sup>り</sup> <sup>込</sup> <sup>み</sup> <sup>ま</sup> <sup>す</sup>。そう  
<sup>す</sup> <sup>と</sup> <sup>網</sup> <sup>は</sup> <sup>大</sup> <sup>き</sup> <sup>な</sup> <sup>ザ</sup> <sup>ル</sup> <sup>の</sup> <sup>よ</sup> <sup>う</sup> <sup>な</sup> <sup>か</sup> <sup>た</sup> <sup>ち</sup> <sup>に</sup> <sup>な</sup> <sup>り</sup>、魚  
<sup>は</sup> <sup>も</sup> <sup>う</sup> <sup>逃</sup> <sup>げ</sup> <sup>ら</sup> <sup>れ</sup> <sup>ま</sup> <sup>せ</sup> <sup>ん</sup>。

こうして捕まえた魚は運搬船に積み込まれ  
(📷 2、3)、港で水揚げされます。

このように魚群ごと網で巻いて獲るので「ま

き網」という名前がついています。一度にた  
くさんの魚が獲れるので、手ごろな値段で手  
に入るのです。だからといって、獲りすぎは  
禁物です。獲りすぎれば次の年から魚が減っ  
てしまい、漁師さんも魚を食べるわたしたち  
も困ってしまいます。ですから、漁師さんも  
含め、みんながルールを決め  
て、獲りすぎないように注意  
しながら漁業を続けている  
のです。(大島 達樹)

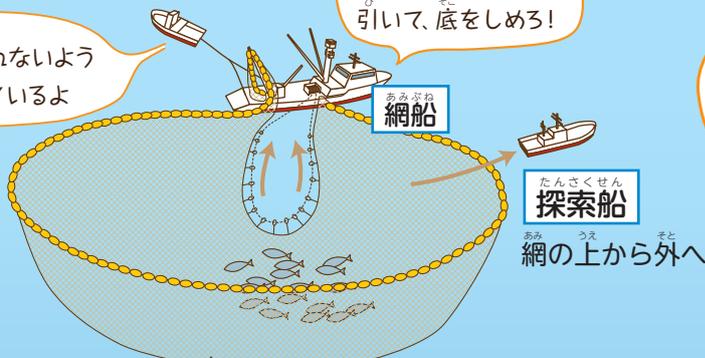


### 3 網の底を閉じる

レッコポート

いぞ  
急いでワイヤーを  
引いて、底をしめろ!

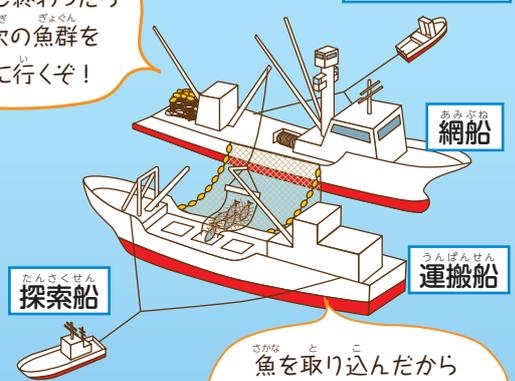
あみぶね <sup>な</sup> <sup>が</sup>  
網船が流されないよう  
引っ張っているよ



### 5 魚を船に取り込む

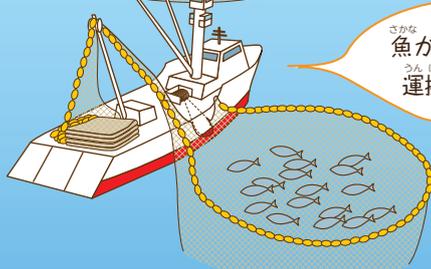
レッコポート

さかな <sup>を</sup> <sup>わた</sup> <sup>し</sup> <sup>お</sup>  
魚を渡し終わったら  
すぐ次の魚群を  
さが  
探しに行くぞ!



### 4 魚を集める

あみ <sup>を</sup> <sup>し</sup> <sup>ま</sup> <sup>い</sup> <sup>な</sup> <sup>が</sup> <sup>ら</sup>  
網をしまいながら  
さかな <sup>を</sup> <sup>あ</sup> <sup>つ</sup>  
魚を寄せ集めます



さかな <sup>が</sup> <sup>あ</sup> <sup>ら</sup> <sup>ず</sup> <sup>あ</sup> <sup>ら</sup> <sup>ず</sup>  
魚が見えてきたぞ!  
うんばんせん <sup>じ</sup> <sup>ゆん</sup> <sup>び</sup>  
運搬船は準備して

さかな <sup>と</sup> <sup>こ</sup>  
魚を取り込んだから  
ひとあし <sup>あ</sup> <sup>な</sup> <sup>と</sup>  
一足先に港に行ってくるよ

- 運搬船は魚を積んだら港へ向かい、水揚げします
- 探索船、網船は漁場にとどまって次の魚群を探します



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

# 「さかなと森の観察園」 に行ってみよう!

冬の間お休みしていた「さかなと森の観察園」が、3月20日から開園します。

池の中を泳ぐ大きなマスたちを見ながら、樹齢300年を超えるミズナラなど自然豊かな森の中を歩いてみませんか?

「さかなと森の観察園」では、朝日新聞社と朝日学生新聞社が主催する第33回「海とさかな」自由研究・作品コンクールで農林水産大臣賞、水産総合研究センター理事長賞を受賞した作品を展示しています。このコンクールは、小学生の皆さんを対象に行われ、毎年、海と魚の不思議や驚きを、自由研究や絵、作文などで表現したたくさんの作品の応募があります。

今回は、3万1741点もの応募作品の中から、農林水産大臣賞に神奈川県の矢萩あかりさんの自由研究「作ってみよう!お魚絵の具」、愛媛県の渡邊莉友さんの作文「ぼくもさかなとおはなししたいな」が、水産総合研究センター理事長賞には山形県の菅原健聖さんの自由研究「ストップ!海の酸性化」、大阪府の永井佑季さんの作文「海ガメがかえる日」が選ばれました。すばらしい作品をぜひ見に来てください。

「さかなと森の観察園」

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3

☎ 0288-55-0055

★電頭の滝のすぐ近く!



5月5日のこどもの日は、中学生以下の入園料が無料になります。

<http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>

研究部門 自由研究「作ってみよう!お魚絵の具」



神奈川県横浜市立浜小学校 3年生 矢萩 あかりさん

研究部門 自由研究「ストップ!海の酸性化」



山形県鶴岡市立朝陽第四小学校 6年生 菅原 健聖さん

創作部門 作文「ぼくもさかなとおはなししたいな」



愛媛県今治市立朝倉小学校 1年生 渡邊 莉友さん

創作部門 作文「海ガメがかえる日」



大阪府泉南市立樽井小学校 6年生 永井 佑季さん



ふーちゃん と



ふっくん: あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.64 (2015年3月発行)

編集・発行: 独立行政法人 水産総合研究センター

質問の送り先・お問い合わせ先: 広報室

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3

クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報室までハガキを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、<住所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

表紙写真



まき網漁船: 作業艇(手前の船)が網の形を整えているところ (撮影: 泉山 真史)

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。